

平成29年 7月  
四国地方整備局

## 港湾協力団体の皆様への情報提供、助言の例

四国地方整備局は、港湾協力団体の皆様に、業務上可能な範囲で以下の情報提供等を行いたいと考えております。この他にも情報提供が可能な場合がありますので、ご質問等ございましたら、適宜、後述の問い合わせ窓口にご連絡をお願いします。

### ① 四国地方整備局が実施する講演会、行事その他記者発表資料等のお知らせ

四国地方整備局が主催する講演会や行事で、港湾を核とした地域振興、防災活動に関する講演会、海洋環境船の一般公開など、港湾協力団体の活動に関係するものについて、開催案内や記者発表資料をメール等でお知らせします。



(クルーズ船社の講演会を実施)  
(H29.5.22)



(海洋環境船「みずき」一般公開)  
(H28.7.16)

### ② 四国地方整備局が実施した調査や所有するデータの提供

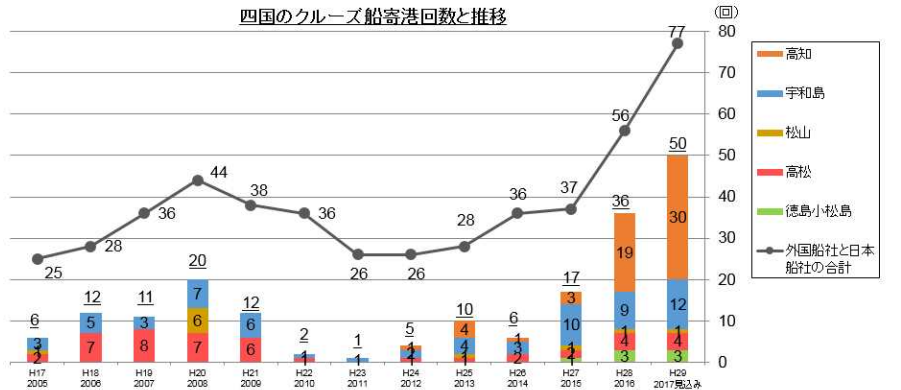
四国地方整備局が実施した調査結果やデータであって、港湾を核とした地域振興、防災、環境創造に関する知見など、港湾協力団体の皆様が行う活動に有益となる情報を提供します。

(注) 行政機関個人情報保護法等関係法令により提供できない情報もありますので、予めご理解をお願いします。

四国への外航船社のクルーズ船寄港の状況 -2017年は過去最高77回の見込み- 国土交通省

- 四国へのクルーズ船寄港回数は、平成28年に過去最高の56回（前年比1.5倍）、うち外国船寄港回数は36回（前年比2.1倍）となった。また、平成29年のクルーズ船寄港予定回数は、77回（うち、外国船社50回：前年比約1.4倍）を予定。
- 四国へのクルーズ船訪日乗降客数は、平成28年 約55,700人（前年比12.1倍）に急増した。

四国のクルーズ船寄港回数と推移



注：港湾管理者への聞き取りをもとに四国地方整備局港湾空港部で作成  
：H29はH28.6.1時点で見込みを含むための変更となる場合がある

クルーズ船により四国を訪れた訪日乗降客数

外国人旅客数(人)	四国計(前年比)	2014年(実績)	2015年(実績)	2016年(実績)
		約2,600	約4,600 (1.8倍)	約55,700 (12.1倍)

注：上記は港湾管理者への聞き取りをもとに、国土交通省四国地方整備局にて作成。  
上記は寄港地ごとに集計しているため、同一の旅客が複数の寄港地を訪れた場合は重複して計上されている。

(平成17年(2005年)から四国の各港へのクルーズ船寄港推移)



(○●水質調査測点箇所)

水深、水温、塩分、pH、DO、濁度、透明度等の項目を年4回実施

### ③出前講座・学習活動支援等

港湾協力団体の皆様が実施する活動に関し、四国地方整備局の職員による出前講座や、環境学習や防災学習等について支援を行います。



(室戸市での防災学習会:津波の驚異など (港の役割や物流に関する学習支援)を学んだ)

### ④港湾協力団体の活動の効果的な実施に資する情報提供、助言

港湾協力団体の皆様が実施する活動に関し、効果的な取り組み方法や適用可能性のある支援制度の活用方法等について助言します。

(注)港湾協力団体に対する直接的な支援ではなく自治体を介しての支援であったり、また、該当する支援制度がない場合もありますので、ご理解をお願いします。



(海ネットの「クルーズ船寄港地歓迎イベント」に対する支援)



(防災・安全交付金の効果促進事業による旅客船待合所のトイレ改修)

## ⑤GPS波浪計津波観測情報メール配信サービス

GPS波浪計が大規模な津波を観測した場合に、観測値を速やかにメールでお知らせして、迅速な避難活動を支援します。

(注)GPS波浪計観測情報配信システムでは、四国沿岸に設置しているGPS波浪計(4基)の観測情報を配信します。津波注意または警報発令後、30cm以上の波を観測した場合に、メール配信します。沖合で観測した津波は沿岸では3~5倍の津波高さになるおそれがあります。

### GPS波浪計観測情報の配信

**【配信条件】**

- 気象庁が津波注意報または津波警報などを発表
- GPS波浪計の潮位偏差が設定した、しきい値を超過  
第1しきい値; ±30cm、第2しきい値; ±100cm、第3しきい値±150cm

**【特徴】**

- 沖合約20kmに設置しているため、徳島海陽沖の場合、陸域到達約10分前に検知可能(波浪計や波向きにより異なる)
- 異常潮位情報は、検知後最短1分後に配信

観測情報配信を配信するGPS波浪計位置図

GPS波浪計参考写真

宮崎日向沖 GPS波浪計

高知西部沖 GPS波浪計

高知室戸岬沖 GPS波浪計

徳島海陽沖 GPS波浪計

### 配信情報の活用

- 沖合の異常潮位情報を、あらかじめ登録された地方公共団体等の災害対応要員等の携帯電話やパソコンにメールで直接配信

直ちに避難してください。

警報注意!

沖合の異常潮位情報を直接伝えることにより、迅速な避難を促す(住民の避難率向上)

我々も避難しよう。

現地災害対応要員等の避難の判断に活用(2次被害防止)

## ⑥ドローン、港湾業務艇等を活用した映像情報

ドローンや港湾業務艇を活用して、港湾協力団体の皆様の活動を、上空や海上から撮影して、提供します。



(ドローンで撮影した高知港へ寄港したクルーズ船2隻同時着岸)



(港湾業務艇から撮影したクルーズ船)

※ 上記以外に必要な情報があれば、下記お問い合わせ窓口までご相談ください。

お問い合わせ窓口

■四国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

TEL 087-811-8360 FAX 087-811-8426

■小松島港湾・空港整備事務所 沿岸防災対策室

TEL 0885-32-3357 FAX 0885-35-0010

■高松港湾・空港整備事務所 企画調整課

TEL 087-851-5524 FAX 087-826-1210

■松山港湾・空港整備事務所 企画調整課

TEL 089-951-0162 FAX 089-946-8010

■高知港湾・空港整備事務所 企画調整課

TEL 088-847-3512 FAX 088-837-3001